

# 平成27年度 第4回 COC 実施本部会議議事録

平成27年9月 18日(金)

15:50~16:25

場所:本部 大会議室

出席者:清水学長、齋藤教育開発センター長、田浦学生部長、岡野研究開発推進センター長、西谷事務局長、木村企画部長、橋本地域連携推進室担当課長、水本学生支援部長、山村教務担当課長

## 【議 題】

### 1. 平成 28 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムの改善点について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配布資料をもとに説明がなされた。

#### ① 伊勢志摩共生学

- ・従来の「伊勢学」は、オムニバス形式で非常勤講師複数を含めて行っていたが、授業内容が重複するなど教員間での連携がうまく取れていなかった面もあり、それらを改善してより体系的に伊勢志摩学を捉えられるようにしていきたい。
- ・COC担当教員がそれぞれ2つずつテーマを担当。それに加えて学内で現在「伊勢学」を担当いただいている教員および伊勢市長にお願い致したい。

#### ② 伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ・Ⅱ

- ・本年度、共生学Ⅰ・Ⅱについては予定通り実施
- ・来年度は、COC担当教員が主に授業を担当、テーマを設定。それぞれのテーマに応じて市町の方々にお願いいただく。

#### ③ 伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅲ・Ⅳ

- ・検討中。近藤准教授、千田准教授2名で、6次産業化を含めて授業を組立てそれぞれが受け持つ形としたいが、補助金関係の課題もあるので確定までには至っていない。

#### ④ 共生学実習

- ・4日間程度の日程で学生が地域に入り、アクティブラーニングを実施する形を計画。

#### ⑤ 現地学修

- ・H27年度は玉城町及び鳥羽市答志島で実施。募集時のテーマが問題。来年度以降、うまく学生が集まるようなテーマ設定をしたいと考えている。

## <質疑応答>

(問)COC担当教員の役割について

(答)今年度については共生学Ⅰ・Ⅱの授業を担当教員4名で進めている。毎回メイン担当の教員1名が市町職員の方々とのコーディネートを図りながら準備内容等についての交渉を行っている。

(問)共生学実習は共生学Ⅰ～Ⅳの受講者以外でも参加可能か？

(答)可能である。

(問)共生学実習は自治体が用意したプログラムを体験する形か？学生が自分たちでこのようなことをやりたいというものを持っていくということはないのか？

(答)現在プログラムを組立て中であるが、ひとつは自治体が作り上げたものに参加する形であるが、共生学Ⅲ、Ⅳを進めている中で教員と密な関係ができてくれば当然このようなプログラムをやってみたいということはお出してくると思われる。

審議の結果、異議なく了解された。

### 2. 平成 27 年度 CLL活動進捗状況

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

### ① 伊勢市上水道新規啓発冊子作成

- ・一般社会人向啓発パンフレットの作成にあたって学生の感覚を取り入れたものにしたいとの申入れによるもの。参加学生は自分たちの意見が実際に使われるという体験ができています。
- ・シンポジウムでは上下水道部によるパネル展示も行っていただいた。

### ② 皇學館FC

- ・学内で地域の未来について話し合うプログラムで、月1, 2回程度のミーティングを予定。
- ・池山助教を中心とし、学生 3 名の申し込みあり。
- ・COCの授業を受けた学生たちがより実践的に学んでゆく場として位置づけたいと考えている。

#### <質疑応答>

(問)皇學館FCに参加する学生の氏名は？

(答)別途配布資料参照

審議の結果、異議なく了解された。

## 3. その他

木村部長よりH28 年度予算について。

当初計画通りの事業を行うとすると、およそ 500 万円の不足が見込まれる。事業内容等について精査、検討を行った上で、不足分については教育開発センター特別要望予算として計上することとなった。

## 【報告】

### 1. 第 1 回皇學館大学「地(知)の拠点整備事業」公開シンポジウムについて

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配布資料をもとに説明がなされた。

#### <参加者アンケート結果>

- ・女性の参加率が低かった。→託児所について検討すべきかとの意見(運営会議時)。
- ・幅広い年齢層が参加。行政関係者が最も多かったが、参加者のうち、3割は学生(三重大学生が多数)。
- ・トイレ休憩についての要望があった。→次回からの時間配分に反映したい。
- ・シンポジウム内容についてはほぼ肯定的な捉え方をしていただいた。

木村部長より、他大学から参加について報告がなされた。

- ・岐阜大3名、園田女子大3名(複数の自治体と連携している点に関心)、四日市大1名、四日市看護医療大学1名、日本福祉大1名

### 2. 平成 27 年度 『伊勢志摩定住自立圏共生学』現地学修について

- ・玉城町 : テーマ「ICTを活用したまちづくり」 8月11日
- ・鳥羽市 : テーマ「島のかあちゃんたちがもてなす「島の旅」で地域創生」 9月11日

【議題】1. にて報告のとおり。

## 3. その他

特記事項なし

## \* 次回日程

平成 27 年度 第 5 回 平成 27 年 11 月 4 日(水) 教学運営会議終了後～ 本部大会議室で開催されることが確認された。